

まちづくりの功績を称えて
平成24年度功労者・善行者表彰式を実施



左から乃村吉春さん、山田照夫さん、佐藤町長、中川孝敏さん、丸玉産業・成田昇工場長

11月3日(文化の日)、中央公民館において、町の発展や振興に多大な貢献をされた方々を表彰する、平成24年度功労者・善行者表彰式が行われました。

今年、自治、産業開発、社会福祉、教育文化功労及び善行で功績があつた4氏1法人が受賞し、佐藤多一町長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を贈呈しました。受賞者を代表して乃村吉春さんから、身に余る光栄です。これからも地域の発展に尽くしたい」と謝辞が述べられました。

受賞おめでとう
ございます(受賞者の詳細は、広報つべつ11月号で紹介しています)。



布瀬勝明さん

清らかな音色に聴き入る
リコーダーセミナーコンサート開催



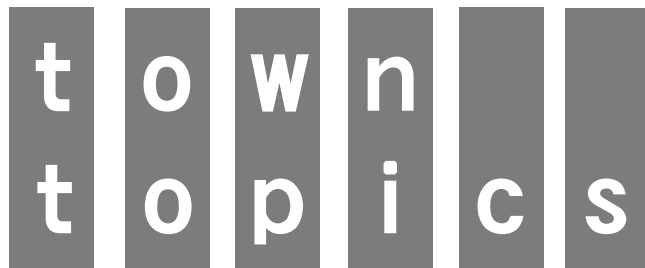
10月28日、中央公民館でリコーダーセミナーコンサート(主催・津別町民芸術劇場、津別町教育委員会)が行われました。第5回目を迎えた、つべつリコーダーセミナーの成果を発表する舞台としておなじみの催しです。スコットランド民謡「ウオーター・イズ・ワイド」で幕を開けたコンサートでは、リコーダーセミナーの参加者たちが息の合った華麗なハーモニーを披露。グリークの名曲や、ドラマ「坂の上の雲」の主題曲などバラエティに富んだ選曲で楽しませてくれました。後半には、金子健治氏ら4人の講師による演奏も行われ、聴衆は清らかな音色に聴き入っていました。

美幌ロータリークラブより寄贈
望岳苑斎場にベビーシート設置

美幌ロータリークラブ(福谷和夫会長)から望岳苑斎場にベビーシート1台(乳児用の衣類・おむつ替え台座)15万円相当)が寄贈され、10月23日、現地で受領式が行われました。



同クラブの創立50周年事業の一環として会員から資金を募り寄贈されたもので、受領式には美幌・津別広域事務組合側から管理者の土谷耕治美幌町長と佐藤多一津別町長が出席しました。ベビーシートは、かねてより利用者の希望が多かった多目的トイレ内に設置されています。



まちのわだい

J A青年部からカボチャの寄贈
わんぱくキッズの調理実習で利用

11月6日、町民会館でわんぱくキッズの調理実習が行われ、保護者12名、子ども16名が参加しました。

調理の主役は、J A青年部(竹原宏太郎部長)から寄贈されたカボチャ8キロ。ロンという品種のラグビーボールのような形をしたカボチャで、甘みが強い特徴を生かしてカボチャ団子を作りました。

試食の感想は「甘くホクホクしておいしい」と、みなさんに大好評でした。



日ごろの練習の成果を披露
老人クラブ連合会演芸交流会



11月1日、中央公民館で津別町老人クラブ連合会の演芸交流会が開催されました。開演に先立ち、長く老人クラブの活動に尽力された方々への感謝状及び表彰状の贈呈や、美幌消費者協会会長・白石さよさんによる「消費生活上のトラブルの事例や対処方法!」と題した講演が行われました。延べ60人あまりが出演した演芸交流会では、詩吟、舞踊、カラオケなど日ごろの練習の成果を發揮して、元氣いっぱいステージを披露。200人を超える観客からは、惜しみない拍手が送られています。

もしものときに備えて
丸玉産業で大規模な消防訓練



10月25日、丸玉産業株で200名あまりの従業員が参加しての、大規模な消防訓練が行われました。工場内から出火し負傷者が1名出ている、という設定で行われた訓練では、消防署への素早く確実な通報、負傷者の運搬、従業員の安全な場所への避難、放水訓練などが本番さながらの真剣さで行われました。従業員の避難所として設定された倉庫では、救急車の誘導、避難人数の確認なども行われ、参加者たちは防火意識を徹底するとともに、もしものときの安全な避難に備えていました。

笠康三郎氏を招いて
タウンウォッチングを実施



11月8日、笠康三郎氏(フラワーマスター認定講習会講師、有限会社緑花計画代表取締役)を講師に招いて、タウンウォッチングが行われました。笠氏と一緒にまちなか団地や国道240号沿いなどの市街地を歩き、花と緑を生かした景観づくりのアドバイスを受けるもので、参加者は、住環境における樹木や花の重要性などを熱心に説明する笠氏の言葉に、真剣に耳を傾けていました。夕方からは場所を移して、全体講評や質疑応答が行われ、花のまちづくりについて積極的な意見が交わされました。

網走川流域のつながりを学ぶ
津別小学校でシジミ出前授業



10月26日、津別小学校の5年生クラスで「シジミ出前授業」が実施されました。網走湖産のシジミを通じて、流域のつながりや河川環境の大切さを学ぶことを目的に、網走川流域農業・漁業連携推進協議会の協力で行われたものです。授業では、西網走漁協の方がシジミの生態や環境の変化による影響などを分かりやすく説明し、子どもたちは身近な食材の話に聞き入っていました。また、この日は、西網走漁協からシジミが、J Aつべつからジャガイモとニンジンが提供され、町内小中学校の給食に出されました。